

第二次 中期計画

(2021年度から2025年度まで)

2021年度

事業計画書

(2021年4月1日から2022年3月31日まで)



2021年3月24日

学校法人 帝塚山学院

目 次

I	はじめに	... P 1
II	学校法人帝塚山学院 第二次中期計画	
	[1] 第二次 中期計画の全体図 P 4
III	第二次中期計画の骨子	
	[1] 法人本部 P 5
	[2] 幼稚園 P 6
	[3] 小学校 P 7
	[4] 泉ヶ丘中学校高等学校 P 8
	[5] 中学校高等学校 P 9
	[6] 大学・大学院 P 9
IV	2021年度 事業計画の骨子	
	[1] 法人本部 P 11
	[2] 幼稚園 P 12
	[3] 小学校 P 13
	[4] 泉ヶ丘中学校高等学校 P 15
	[5] 中学校高等学校 P 17
	[6] 大学・大学院 P 18
V	2021年度 予算の概要	
	[1] 資金収支計算書（活動区分資金収支計算書） P 20
	[2] 事業活動収支計算書 P 21
	[3] 学生・生徒等数推移表（2015年度～2021年度） P 22

第二次中期計画 および 2021年度（令和3年度）の主要な事業計画

I はじめに

昨年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大、それに伴う緊急事態が宣言され、長期間にわたる臨時休校、リモート授業の始動、休校分の授業時間数の確保、数々の感染防止対策等、想定外の対応に日々追われることになりました。

2021年度（令和3年度）は新型コロナウイルス感染症と向き合いながら、充実した教育活動をいかに継続していくか等、極めて難しい学校運営を引き続き行うことが大きな課題となりそうです。

難しい学校運営となる一つ目の要因として、少子化の進行です。2020年12月21日に厚生労働省は、出生数や死亡数などを集計する人口動態統計の年間推計について、例年と違って不確定要素が多いことを理由に2020年の公表を見送ることを発表しました。しかし、2020年1月から10月までの出生数は73万3907人（速報値）で、前年同期の75万1141人（速報値）から約1万7000人減少したことから、2020年通年では過去最少だった昨年の86万5239人を下回る見通しとなりました。この見通しは出生者数の統計を始めた1899年以降で最少人数となります。当初、90万人を割り込むのが2020年とされてきましたので、少子化が当初の想定よりさらに進行したことになります。新型コロナウイルスへの感染が拡大する中、妊娠の届出件数が前年を下回って推移しており、2021年の出生数は80万人を割り込むとの見方も出ております。

二つ目の要因は、新型コロナウイルス感染拡大による経済状況の悪化です。世界恐慌並みの景気後退との指摘もあります。感染拡大の抑制のための外出制限や自粛、渡航制限の導入などに伴い、人同士が接点を持つ対面サービスの需要が急減し、観光や宿泊、航空の業界などでは前例の無い規模で需要が縮小しております。

そのため、受験生の家庭では、家計の急変により私学への進学を断念し、進路変更

をせざるを得ない事例も数多く発生することが見込まれます。2021年度の受験生はコロナ禍であっても入試直前ということもあり、進路変更する事例はそれほど多くなかったかもしれませんが、2022年度入試を目標としている受験生では、進路変更する事例がかなり増えるものと思われます。

これら少子化と私学への進学者減少の影響は私学の定員充足の点において、おしなべて及ぶものではなく、二極化となって現れるものと考えられます。そのような状況下において、本学院は生き残るために役員・教職員全員が知恵を絞り、本学院に通わせて良かったと思っていただけるような、特色ある学校づくりのために日々精進しているところです。

2021年度の本学院の入学募集状況におきましては、現時点ですべての試験結果は出ておりませんが、一昨年度、昨年度に引き続き幼稚園から大学院まですべての設置校が募集入学定員を何とか充足できる状況と推測しております。これは、コロナ禍の中、少人数での入試説明会を複数回に分けて開催するなど、感染防止対策を徹底しながら入学獲得のために、募集活動をきめ細かく、地道に行ってきたことが実を結んだこと、各学校の教育面における取組が社会からの一定の評価や期待を得ていることの成果であると考えております。とは言え、学院全体としての改革はまだまだ途上にあり、一層の推進が必要です。

さらに、今年度は大学キャンパス統合事業を終えた新たな年であり、本法人にとっても重要な年でもあります。大学キャンパス統合事業は、学生が何を学び、身に付けることができるかを明確にし、学修の成果が実感できる教育、所謂「学修者本位の教育への転換」を行っていく教育の質保証の実現にむけて取り組んでおりますが、これらの事項をより一層着実に実践してまいります。

大学キャンパス統合事業実施による財政面では、大学泉ヶ丘キャンパス改修工事費用や大学狭山キャンパス売却による土地、建物等、図書などを一括償却による除却損が発生するため、2020年度の収支は一時的に大幅な赤字を計上する事になりますが、2021年度以降は統合のメリットが出てくるため、収支は黒字基調に改善する予定です。

また、2021年度からは新たな中期計画（2021年度から2025年度まで）がスタートする年度であります。学院創立100周年にあたる2016年度を起点とする第一次中期計画（2016年度から2020年度まで）の成果の上にとって、さらなる改革の遂行等着実に計画を実行してまいります。学院全体のビジョンは、「1. 強靱さと豊かな創造力を備えた人の育成」「2. 主体性を育む自学主義に基づく教育」「3. 進化する品格ある名門私学」といたしました。そのビジョンを具現化するために、改革の基本方針を「1. エンロールメント・マネジメントの強化」「2. 教職協働の強化」「3. 財務基盤の強化」といたしました。3つの改革の基本方針をふまえ、新しい中期計画の第1年目の各施策および2021年度事業計画での具体的施策を策定し、2021年度予算に反映させ実効性を確保するようにいたします。

法人および各学校の年度計画の詳細は、後掲の事業計画に示していますのでご確認ください。

最後に本法人においては、これまで以上に多様性に富んだ教育内容の充実・特色化を図るとともに、安定的な経営基盤を維持して、学校経営を行ってまいります。授業の形態につきましては、対面での授業を基本としながらも、リモートも併用したハイブリッド型の学びを継続いたします。

今後も理事長や学長・校長、園長のリーダーシップの下で、教職員全体で情報を共有し、教学と経営が一体となって、経営力の強化と経営の透明性向上に努め社会の理解と支援を得られる様、より一層の改革につきましても取り組んでまいります。

II 学校法人帝塚山学院の中期計画

[1] 2021年度から2025年までの第二次中期計画の全体図



Ⅲ 帝塚山学院 第二次中期計画の骨子

[1] 法人本部の中期計画

1. エンロールメント・マネジメントの強化

- (1) 募集定員確保
- (2) 優秀な人材の採用・教育の質向上
- (3) ICT を活用した教職協働データの共有、活用

2. 教職協働の強化

- (1) 各校園へのサポート強化
- (2) 理事長および学校園長のリーダーシップによるガバナンス体制の強化
- (3) 学内諸規程の見直し
- (4) 人事制度の見直し
- (5) 職員全体を対象とした人材育成・研修制度の確立
- (6) 改正高年齢者雇用安定法への対応をふまえた給与制度、退職金制度の見直し
- (7) 学院ブランドイメージの向上

3. 財務基盤の強化

- (1) 各設置校の財務基盤健全化支援
- (2) 組織の計画的・効率的配置・編成

- (3) 人事業務の効率化
- (4) キャッシュマネジメントの高度化
- (5) 募金施策による増収

[2] 幼稚園の中期計画

1. エンロールメント・マネジメントの強化

- (1) 教育の質の保証
- (2) 教員の指導力向上
- (3) 保育環境の充実
- (4) 進路指導の充実
- (5) 幼小連携の充実

2. 教職協働の強化

- (1) 募集活動の意識共有
- (2) 幼稚園運営の援助協力他法人の学校運営の具体例の調査提示・提案
- (3) 事務処理の IT 化
- (4) 教員採用・人材確保の確立

3. 財務基盤の強化

- (1) 安定的財務基盤の確立

[3] 小学校の中期計画

1. エンロールメント・マネジメントの強化

- (1) 教員の質の向上
- (2) 学力（認知能力）を育成する教育
- (3) 非認知能力を育む教育の徹底
- (4) 未来につなぐ力の育成

2. 教職協働の強化

- (1) 組織改革の計画的実施
- (2) 教職員の勤務環境の整備
- (3) 各部署との連携の強化

3. 財務基盤の強化

- (1) 児童定員の確保
- (2) 適正な児童定員数と、学校授業料の計画的検討
- (3) 外部資金の獲得

[4] 泉ヶ丘中学校高等学校の中期計画

1. エンロールメント・マネジメントの強化

- (1) 合格実績の向上
- (2) 英語教育・国際理解教育の充実
- (3) 入学者確保
- (4) 生徒指導の徹底
- (5) カリキュラムの変更 ～ 社会人基礎力の育成 ～
- (6) ICT 機器を活用した教育の実践
- (7) 特別活動の充実 ～ 社会人基礎力の育成 ～

2. 教職協働の強化

- (1) ICT 教育の推進
- (2) 生徒募集活動の強化
- (3) 教育環境の充実

3. 財務基盤の強化

- (1) 外部資金確保

[5] 中学校高等学校の中期計画

1. エンロールメント・マネジメントの強化

- (1) 生徒指導力の強化
- (2) 学習環境の増強
- (3) 教科指導力の向上
- (4) 生徒の学力向上

2. 教職協働の強化

- (1) 教職協働の促進
- (2) ガバナンスの強化
- (3) 教育環境の整備

3. 財務力の強化

- (1) 入試募集の強化
- (2) 大阪府や文部科学省等の競争的補助金の獲得

[6] 大学・大学院の中期計画

1. エンロールメント・マネジメントの強化

- (1) 教育課程の質の保証

- (2) 学修支援の充実
- (3) キャリア支援の強化
- (4) 学生サービスの向上
- (5) 学修環境の整備
- (6) 地域社会への貢献（教職員へのより広い活躍の場の提供）

2. 教職協働の強化

- (1) 教学マネジメントの機能性
- (2) 教員の配置・職能開発、職員の研修
- (3) 内部質保証の実施

3. 財務基盤の強化

- (1) 入学定員の充足
- (2) 文部科学省等の競争的補助金の獲得
- (3) 人件費の抑制
- (4) 物件費の削減

IV 2021年度 事業計画の骨子

[1] 法人本部の事業計画

1. エンロールメント・マネジメントの強化

- (1) 募集定員確保
- (2) 優秀な人材の採用・教育の質向上
- (3) 泉ヶ丘中高校務支援システムのリプレイス
- (4) 情報セキュリティポリシー細則策定

2. 教職協働の強化

- (1) 各校園へのサポート強化
- (2) 理事長および学校園長のリーダーシップによるガバナンス体制の強化
- (3) 学内諸規程の見直し
- (4) 人事制度の見直し
- (5) 職員全体を対象とした研修制度の確立
- (6) 学院ブランドイメージの向上
- (7) ICT環境の整備強化(統合ファイルサーバ運用拡充、電子ワークフロー導入)

3. 財務基盤の強化

- (1) 各設置校の財務基盤健全化支援

- (2) 組織の計画的・効率的配置・編成
- (3) 人事業務の効率化
- (4) 修繕計画の策定・実行
- (5) 募金施策による増収

[2] 幼稚園の事業計画

1. エンロールメント・マネジメントの強化

(1) 教育の質の保証

- ① 体験型プロジェクト保育の実施
- ② 食育活動の実施
- ③ 絵本とのかかわり表現力・語彙力の向上
- ④ 運動能力・体力の向上
- ⑤ 安全教育の継続
- ⑥ マナー教育の充実
- ⑦ SDG s への取り組み

(2) 指導力向上

- ① 教員研修・園内研修の実施
- ② くぼた脳研の活用
- ③ 安全教育・救命技能の向上
- ④ 人事考課制度、評価の実施
- ⑤ 担任ローテーションの実施
- ⑥ 保育マネジメントの充実

(3) 保育環境の充実

- ① 保育室環境の充実
- ② 園庭環境の充実
- ③ 自園給食の実施

- (4) 進路指導の充実
 - ① 家庭の子育て力向上

- (5) 幼小連携の充実

2. 教職協働の強化

- (1) 募集活動の意識共有
 - ① 募集活動への協力と助言
 - ② 入園希望園児の紹介
- (2) 幼稚園運営の援助協力他法人の学校運営の具体例の調査提示・提案
- (3) 事務処理の IT 化
- (4) 教員採用・人材確保の確立

3. 財務基盤の強化

- (1) 安定的財務基盤の確立
 - ① 定員確保
 - ② 保育料値上げの検討
 - ③ 外部資金獲得のための情報共有
 - ④ 特別協力金納付率 100%
 - ⑤ 寄付金の募集「まつかさ応援募金」

[3] 小学校の事業計画

1. エンロールメント・マネジメントの強化

- (1) 教員の質の向上

- ① 教科指導力の向上
 - ② 学級経営力の向上
 - ③ 人材の確保と、適材適所配当
- (2) 学力（認知能力）を育成する教育
- ① 学力向上に向けた取り組みの継続と強化
 - ② 「学力向上教材」の作成と利用
 - ③ 漢字学習方法の精査
 - ④ 「進路ファイル」の周知
 - ⑤ T A S Cの充実
- (3) 非認知能力を育む教育の徹底
- ① 生活指導の強化と徹底
 - ② 学校行事の意義の向上
 - ③ 協働学習の手法の確立と実施
 - ④ 給食の在り方と食育
 - ⑤ 「道徳」科目の確立
- (4) 未来につなぐ力の育成
- ① 進路指導の取組強化と周知
 - ② キャリア教育
 - ③ I C T教育
 - ④ 英語教育

2. 教職協働の強化

- (1) 組織改革の計画的実施
- ① 組織改革
 - ② 校務分掌・業務必携
 - ③ 児童に対する教員連携強化
- (2) 教職員の勤務環境の整備
- (3) 各部署との連携の強化

3. 財務基盤の強化

- (1) 児童定員の確保
- (2) 適正な児童定員数と、学校授業料の計画的検討
- (3) 外部資金の獲得

[4] 泉ヶ丘中学校高等学校の事業計画

1. エンロールメント・マネジメントの強化

- (1) 進路指導部
 - ① 国公立大および国公立医学部等現役での合格者増
- (2) 国際教養部
 - ① ネイティブマネジメントと四技能に関する英語授業力の向上
- (3) 入試対策部
 - ① 募集定員確保とレベルの維持・上昇
- (4) 生徒指導部
 - ① 校内規範意識のさらなる向上
- (5) 保健部
 - ① 迅速かつ的確なコロナ対応とメンタルケアの継続
- (6) 企画部
 - ① 各プロジェクトの円滑かつ充実した内容での実施
- (7) 生徒会・学年活動
 - ① 学校行事の生徒主導への変換
 - ② 計画性ある実施

(8) 教務部

- ① 日常教育活動の円滑な実施
- ② 教科主任との連携強化

(9) 組織的活動の徹底（組織ごとの会議運営と全体方針の徹底）

2. 教職協働の強化

- (1) 有益な勤務時間管理
- (2) 教育施設の有効活用
- (3) 学校協議会の充実
- (4) P T A、同窓会との連携強化
- (5) 有効な教員採用
- (6) 感染症対策

3. 財務基盤の強化

- (1) 入学生確保
- (2) 外部資金確保
- (3) 支出の見直し

[5] 中学校高等学校の事業計画

1. エンロールメント・マネジメントの強化

(1) 生徒指導力の強化

- ① 創究講座の充実とアクティブラーニングの強化
- ② エンロールマネジメントによる募集と進路のリンク
- ③ 多様な進路への対応
- ④ 基本的な生活習慣の確立

(2) 教科指導力の向上

- ① ラーニングコモンズ第二期工事
- ② ICT 環境の整備
- ③ 教員研修の実施
- ④ 優秀な人材の採用
- ⑤ リモート教育の強化

(3) 生徒の学力向上

- ① エトワール上位層の模試成績を維持・向上
- ② プルミエ生の現役大学合格率を維持・向上
- ③ 関学コース生の英検取得率を維持・向上

2. 教職協働の強化

(1) 教職協働の促進

(2) ガバナンスの強化

(3) 教育環境の整備

3. 財務力の強化

(1) 入試募集の強化

(2) 外部資金の獲得

- ① 大阪府や文部科学省等の競争的補助金の獲得

[6] 大学・大学院の事業計画

1. エンロールメント・マネジメントの強化

(1) 教育課程の質の保証

- ① 基礎学力の強化と検証
- ② 学修成果の点検・評価
- ③ 4年以内の退学者率改善
- ④ 教育改善への継続的取り組み
- ⑤ 抽選科目の運用改善
- ⑥ 養護教諭採用試験合格者数の増加
- ⑦ 自主学習グループの運営と改善
- ⑧ 大学・保護者・学生との連携強化

(2) 学修支援の充実

- ① 学生の能力に応じた入学前教育の実施
- ② 学修支援体制の充実（多様な授業形態の推進）
- ③ 学生の自主学習や教員とのコミュニケーションを推進
- ④ 学生ポートフォリオの活用
- ⑤ IRを活用した教学マネジメントの実行

(3) キャリア支援

- ① 内定率100%の維持
- ② コロナ禍での新たなキャリアセンター企業の求人提示

(4) 学生を大切に作る大学づくり（入学前から卒業までをサポート）

- ① 多様な課外活動の支援（学生生活等の活性化）
- ② 学生指導及び学生生活支援
- ③ 経済的支援（各種奨学金等）

(5) 学修環境の整備

- ① 食堂、図書館の改善

- ② I T活用環境の改善
- ③ 企業とのコラボ活動

(6) 地域社会への貢献（教職員へのより広い活躍の場の提供）

2. 教職協働の強化

- (1) 教学マネジメントの機能性
- (2) 教員の配置・職能開発、職員の研修
- (3) 内部質保証の実施

3. 財務基盤の強化

- (1) 入学定員の充足
- (2) 外部資金の獲得
- (3) 人件費の抑制
- (4) 物件費の削減

[1]資金収支計算書(活動区分資金収支計算書)

(単位:百万円)		2020年度 補正予算 ①	2021年度 当初予算 ②	2020年度補正予算vs2021年度当初予算 差異 ②-①
教育活動資金収支差額	A	△641	496	1,137
教育活動収入	①	6,574	6,901	327 学生数増加、大学補助金増加に伴う収入増加
教育活動支出	②	6,997	6,392	△605 キャンパス統合関連支出の減少、及びキャンパス統合による合理化
差引	①-②	△424	509	933
調整勘定等		△217	△13	204 参考:期末時点の未払金、未収入金等の額の調整
施設設備等活動資金収支差額	B	△1,999	△464	1,534
施設整備等活動資金収入	①	328	300	△28
施設整備等活動資金支出	②	2,327	764	△1,563 <2021年度主要な投資予定> 大学泉ヶ丘キャンパス:外構工事 住吉キャンパス:空調更新、コモンズ工事
差引	①-②	△1,999	△464	1,534
調整勘定等		0	0	0 参考:期末時点の未払金、未収入金等の額の調整
小計	C=A+B	△2,640	32	2,671
その他の活動による資金収支差額	D	558	1	△557
その他の活動資金収入	①	1,479	1,416	△64
その他の活動資金支出	②	921	1,415	494 前年度において、各種特定資産について適正残高に調整及び100周年記念特定資産を取崩したことによる減少
差引	①-②	558	1	△557
調整勘定等		0	0	0 参考:期末時点の未払金、未収入金等の額の調整
支払資金の増減額	E=C+D	△2,081	33	2,114
前年度繰越支払資金	F	3,723	1,642	△2,081
翌年度繰越支払資金	G=E+F	1,642	1,675	33

[2]事業活動収支計算書

(単位:百万円)	2020年度 補正予算 ①	2021年度 当初予算 ②	2020年度補正予算vs2021年度当初予算 差異 ②-①	
教育活動収入 A	6,795	6,902	107	
学生生徒等納付金	4,560	4,719	159	学生数増加等に伴う収入の増加
手数料	71	81	11	
寄付金	92	86	△6	
経常費等補助金	1,500	1,577	77	
付随事業収入	226	288	62	
雑収入	346	151	△196	退職給与引当金戻入額等の減少
教育活動支出 B	7,671	6,924	△747	
人件費	4,334	4,286	△48	
給与等経常的人件費	4,021	4,066	45	
退職金関連等的人件費	313	220	△93	
教育研究経費	2,560	1,990	△570	キャンパス統合関連支出の減少、及びキャンパス統合による合理化
管理経費	776	648	△128	キャンパス統合関連支出の減少、及びキャンパス統合による合理化
教育活動収支差額 C=A-B	△876	△22	853	
教育活動外収入 D	25	24	△1	
受取利息・配当金	23	22	△1	
その他の教育活動外収入	2	2	0	
経常収支差額 E=C+D	△851	2	853	
特別収入 F	28	0	△28	
その他の特別収入	28	0	△28	
特別支出 G	3,489	0	△3,489	
資産処分差額	3,489	0	△3,489	前年度:狭山キャンパスの土地建物等の除却
特別収支差額 H=F-G	△3,461	0	3,461	
基本金組入前当年度収支差額 I=E+H	△4,312	2	4,313	
基本金組入額 J	△1,108	△291	816	<2021年度主要な投資予定> 大学泉ヶ丘キャンパス:外構工事 住吉キャンパス:空調更新、コモンズ工事
当年度収支差額 K=I+J	△5,419	△290	5,130	

[3] 学生・生徒数推移表 (2015年度～2021年度)

2021年度当初予算

学 科 等	2015年度		2016年度		2017年度		2018年度		2019年度		2020年度		2021年度		
	在籍者数 5月1日現在	入学者数 5月1日現在	在籍者数 9月1日現在	入学者数 5月1日現在	在籍者数 5月1日現在	入学者数 5月1日現在	在籍者数 5月1日現在	入学者数 5月1日現在	在籍者数 5月1日現在	入学者数 5月1日現在	在籍者数 5月1日現在	入学者数 5月1日現在	在籍者数 9月1日現在	入学者数 9月1日現在	予想入学者数 予想在籍者数
(大 学)															
小・中学校-学部①	399	81	330	319	66	281	276	282	151	359	474	469	190	145	545
人間科学部②	1,269	333	1,250	1,240	295	1,217	1,189	1,217	405	1,322	1,254	1,240	285	290	1,220
情報科学・IT学科	231	42	182	181	49	175	171	168	77	211	166	165	0	0	114
心理学科	578	119	530	522	114	463	460	452	148	494	503	497	147	159	543
食物栄養学科	438	148	493	492	112	515	513	490	126	478	471	466	137	130	474
キャリア英語学科	22	24	45	45	20	64	45	108	54	139	114	112	1	1	89
大学院 ③	37	35	27	27	13	28	28	26	20	34	41	41	21	20	40
大 学 計 ①+②+③	1,705	428	1,607	1,586	374	1,526	1,493	1,525	576	1,715	1,769	1,750	496	455	1,805
(住 吉 校)						△ 81	△ 93	9	32	137	54	52	△ 80	△ 41	36
高等学校 ④	726	252	730	724	253	753	748	751	262	760	740	736	227	255	733
中学校 ⑤	717	250	734	732	225	723	721	704	278	730	765	763	258	279	801
中・高等学校 計 ④+⑤	1,443	502	1,464	1,456	478	1,476	1,469	1,452	540	1,490	1,505	1,499	485	534	1,534
小学校 ⑥	677	122	681	677	111	673	673	671	121	676	673	673	121	115	675
幼稚園 ⑦	147	53	140	141	41	136	136	142	51	151	153	156	59	51	157
住吉校 計 ④+⑤+⑥+⑦	2,267	2,262	2,285	2,274	630	2,285	2,278	2,267	712	2,317	2,331	2,328	665	700	2,366
(泉ヶ丘校)															
高等学校 ⑧	739	277	772	770	311	836	833	868	288	881	868	868	292	311	883
中学校 ⑨	571	177	527	526	191	526	525	534	155	516	483	483	157	167	477
泉ヶ丘校 計 ⑧+⑨	1,310	454	1,299	1,296	502	1,362	1,358	1,402	443	1,397	1,351	1,351	449	478	1,360
高校以下計 ④～⑨	3,577	3,569	3,584	3,570	1,132	3,647	3,636	3,669	1,155	3,714	3,682	3,679	1,114	1,178	3,726
総 合 計 ①～⑨	5,282	5,252	5,191	5,156	1,506	5,173	5,129	5,194	1,731	5,429	5,451	5,429	1,610	1,633	5,531
9/1在籍者-5/1在籍者	△ 30		△ 35			△ 44		△ 25		△ 32		△ 22			
対前年度同月日	5,282	5,252	△ 91	△ 96	△ 53	△ 18	△ 27	65	149	210	203	22	△ 121	23	80
対前年度対前年度数			63	66	37	33	30	30	30	△ 32	△ 20				44

